

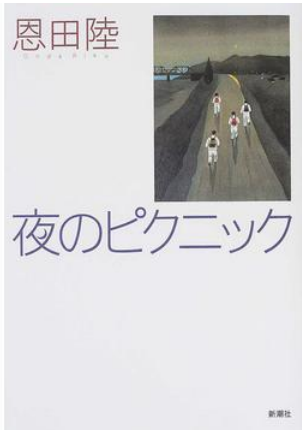
図書案内

2021 年 7・8月号

担当 3-1 瀧澤 3-6 岩折

夏は夜

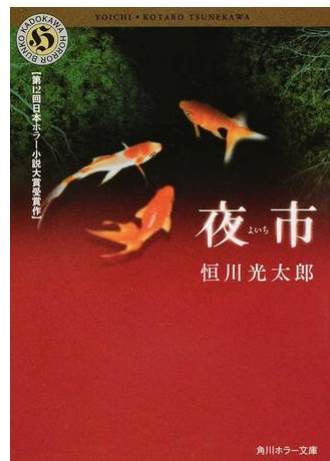
「夏は夜」、枕草子の有名な言葉にもあるように、夏は夜が美しい季節です。星が綺麗に見えと言いますが、月夜や闇夜も素敵ですよ。今回紹介するのは、そんな「夜」についての本です。昼間の暑さが和らぐ夏の夜は、ほっと一息ついて本を読むのにぴったりです。今年の夏は、読書をしながら夜空に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。本は図書館で貸出しています。



『夜のピクニック』 恩田 陸

北高では毎年、徒歩祭というイベントが開催されています。徒歩祭では、全長 80 kmの道のりを生徒たちは夜通しひたすら歩きます。3年生にとっては高校生活で最後の思い出となるその日に、貴子はある賭けに出ました。その賭けはうまくいくのか、登場人物それぞれの思いに注目して読んでみてください。(瀧澤)

でも、現実、これからだもんなあ。



『夜市』 恒川 光太郎

男の案内のもと、女は妖怪たちの市場、夜市を訪れた。夜市では望むもの全てが手に入るが何かを買わないと帰れない。一向に抜け出せない女は男に夜市について問いただすと男はこう語った。男はかつて夜市で弟を売り、野球の才能を買った。そして今、弟を取り戻しに来たのだ、と。

幻想的で切ない、何とも言えない恐怖感が心地よい日本ホラー小説大賞受賞作。衝撃と感動の結末をぜひご覧あれ。(岩折)

今宵は夜市が開かれる。
夕闇の迫る空にそう告げたのは、学校^{こうもり}蝙蝠だった。



『すごい夜空の見つけかた』 林 完次

流星が横切ったり、淡い輪が月にかかったりと私たちの頭上の夜空は様々な表情を見せてくれます。

本書は「夕暮れ」「月夜」「星空」の3章に分かれており、美しい写真とともに皆既日食といった自然現象が科学的な豆知識や逸話で紹介されています。勉強の合間にページをめくって、神秘的でどこか懐かしい夜空に癒されてみませんか？(岩折)

夜空を見上げてみませんか。



『銀河鉄道の夜』 宮沢 賢治

みなさん、夜をテーマにしたお話といえば、何が思い浮かびますか？今回紹介するのは、一度は読んだことがあるだろう「銀河鉄道の夜」です。主人公のジョバンニと親友のカムパネルラは気づいたら銀河鉄道に乗っていました。乗客たちが皆降りた後2人だけになり「本当のみんなの幸せのために歩む」ことを誓いますが……。この機会にぜひ読んでください。(瀧澤)

カムパネルラ、また僕たち2人きりになったねえ、どこまでもどこまでも一緒に行こう。

近くに見えるけれども遠い存在？

かつて夏目漱石は「I LOVE YOU」を「月が綺麗ですね」と訳したとか。その真偽はともかく、月は私たちに身近な存在として愛されてきました。では、月に行くとしたらどれくらいの時間がかかるのでしょうか？ まず、地球と月との距離は実は一定ではありません。地球から最も遠くなる距離は、約 450 万 5000 km、最も近くなる距離は約 360 万 3000 kmです。この平均の距離を「地球と月の距離」として考えます。この距離を乗用車で進むと 160 日、新幹線で行くと 50 日で月に着く計算になります。さらに速度の速いジェット機で行くと 17 日で着くことになるのです。しかし、これらでは実際に月に行くことは出来ません。私たちが現在月に行くための唯一の手段はロケットです。では、ロケットでは何日で月に着けるのでしょうか？ 答えは3か月半です。月に行くにはそれだけの日数がかかるのです。

【出典】『夜ふかしするほど面白い「月の話」』 寺蘭 淳也／著 PHP 研究所 2018 年